



水の仲間たち

水に関わる方々を
紹介します

綾瀬川を愛する会

川口市北東部を流れる綾瀬川。この川の浄化に力を注いでいるのが、ボランティア団体「綾瀬川を愛する会」です。生物多様性の保全と若者の自然教育にも取り組んでいます。

今回、綾瀬川川岸の清掃活動中にお尋ねし、代表の森中さん、相談役の幾島さんにお話を伺いました。

―綾瀬川を愛する会を設立したきっかけについて教えてください。

森中 かつての綾瀬川は、全国水質調査のワーストワンを15年連続で記録するほど汚れており、その環境を改善したいという強い思いから、平成8年に結成しました。現在の会員数は市外の方も含めて約80名です。

―活動内容について教えてください。

幾島 毎月第3土曜日、綾瀬の森（戸塚綾瀬小学校裏）を出発し佐藤橋を経由して暇橋まで、綾瀬川川岸の清掃活動を実施しています。

また川を汚さないためのチェックシートを作成しており、小学校の環境学習で配布し、生活排水の改善を呼びかけています。

さらに綾瀬川沿いにある森林の保護・育成も行っています。工事に伴って伐採された河畔林を、植林により復元し、「綾瀬の森」と名づけました。今では、絶滅危惧種を含む

様々な動植物が育っています。この

「綾瀬の森」周辺とそこに至る堤防の小道を含めて「川口綾瀬の森自然保護区（自然ふれあいゾーン）」と名づけ、市民の注目を集めています。

この他、綾瀬川の水質調査を年4回実施しています。

―活動の結果、現在の綾瀬川の環境はどう変わりましたか。

森中 清掃活動を開始して数年間は、堤防や川岸に自転車やバイク、家電などのごみが溢れており、回収に大型トラックが必要になるほどでした。

現在はごみも少なくなり、川の水も透明度を取り戻しています。平成23年には国土交通省により「綾瀬川復活宣言」がなされました。

また平成27年には、日本水大賞※の市民活動賞をいただきました。

※日本水大賞：水循環の健全化に貢献する団体等の活動に対する表彰。日本水大賞委員会・国土交通省主催。

―川口市の水道水について、ご意見等お聞かせください。

幾島 川口市の水道水はおいしく清潔であり、とても満足しています。普段から、浄水器を通さずそのまま飲んでいきます。

―市民の方にメッセージをお願いします。

幾島 川は地球にとって血管のようなものです。また優れた自然観察の場でもあり、次の世代へ継承できる宝であると考えています。生活排水を減らす、川岸にごみを残さないなど、一人ひとりが河川環境をきれいに保つという意識を高めていただくと幸いです。

―ありがとうございました。

綾瀬川を愛する会
連絡先 048(295)4574



「綾瀬川を愛する会」のみなさま（向かって右奥）森中さん、（向かって右手前）幾島さん



清掃活動の様子。この日はビニール、タバコの吸殻などのごみが多く見られました。